

稚アユ230キロを放流

「今年は期待できそう」

西臼杵漁協

アユ漁解禁に向け、西臼杵漁業協同組合（矢野文昭組合長）は9日、西臼杵郡内の河川に稚アユ計2300キを放流した。

延岡市の養魚場から運ばれた体重10gほどの稚アユが日之影町役場に到着。組合員らが稚アユを複数の車に分けて運び、日之影町の五ヶ瀬川や日之影川、五ヶ瀬町の三ヶ所川や鞍岡川の複数箇所それぞれ放した。

同漁協が管理する河川でのアユ漁解禁は6月1日を予定。同漁協日之影支部の坂本正博支部長による

稚アユを放流する坂本支部長（日之影町役場下の五ヶ瀬川）

と、今年延岡湾で海産稚アユ採捕が行われなかったためか遊

上（そじょう）するアユの数が増えたことを確認したという。

「今年は期待できそう」と笑顔で話した。

